

デザイン美術学科

科目名 (科目コード)	表現研究【2129】	配当年次	2	担当教員	井上 孝博	対象 区分	—	—	—
		単位数	1				—	—	—
授業の ねらい	水墨画・墨彩画の初歩的な実習にて様々な表現を試み、墨画（東洋画）の妙味や美を体感する。								
授業の 計 画	<p>1.水墨画についての概説。</p> <p>2.道具・材料の使用法の説明。</p> <p>3.墨の濃淡・水の量加減・直線、曲線の引き方・面の塗り方など、基礎的な練習とその説明。</p> <p>4.簡単な形の、身近なモチーフ(野菜・果物・草花・竹・魚・虫など)の、筆順・技法^{テクニック}での描く練習。</p> <p>5.その説明。</p> <p>6.風景(樹木・岩石・山・河川・空・雲・月・風・草原・動物など)の、筆順・技法^{テクニック}での描く練習。</p> <p>10.その説明。</p> <p>11.本画仙紙に水墨で、各自オリジナルな構想を練り、2日間の技法などの練習成果を生かして自由に描表し、更にそこに水彩絵具で淡彩を施して「墨彩画」の体験をし、題名^{タイトル}を付けて物語性^{ストーリー}をもたせ「作品」を完成させる。</p> <p>15.作品鑑賞と合評。</p> <p>応用として、「鬼・龍」なども制作してみる。 潤筆^{じゆんぴつ}・渴筆^{かつびつ}の描法によるテクニックで、にじみ・かすれ・ぼかしなどの、水墨画特有の表現描法を習得させる。</p>								
教科書	なし								
持参物	筆…彩色用丸太筆・丸中筆・丸細筆・面相筆 各2本づつ・平刷毛1本 すずりいし 硯石・青墨・文鎮・下敷き布(フェルト)・水入れ・雑巾・ティッシュペーパー・小皿2枚・新聞紙・印(石印)・印肉・水滴 水彩画用具一式								
評価方法	作品提出と受講態度の総合評価								